

平成8年度 厚生省心身障害研究
「効果的な親子のメンタルケア」に関する研究班・合同会議

日時：平成9年2月20日（木）午前10時～午後4時
場所：国民年金中央会館・こまばエミナース（東京）

プログラム

午前10：00～10：10

開会 厚生省挨拶，主任研究者挨拶

午前10：10～11：15

- A. 病気をもつ子どもの健全育成に関する研究班（分担研究3） 座長 山本 圭子
1. 慢性疾患をもつ子どもの教育の場について
山本 圭子（埼玉県立小児医療センター）
 2. 小児がんの長期予後とQOL
細谷 亮太（聖路加国際病院・小児科）
 3. インスリン依存性糖尿病児の学校生活での問題点
松浦 信夫（北里大学・医学部・小児科）
 4. 入院児の知覚されたソーシャルサポートとストレス反応
武田 鉄郎（国立特殊教育総合研究所・病弱教育研究部）
 5. 小中学校時代の体験に関する研究
小林 信秋（財団法人 日本児童家庭文化協会）

午前11：15～午後0：20

- B. 被虐待児の地域システムに関する研究班（分担研究1） 座長 松井 一郎
1. 虐待分担班の研究経過
松井 一郎（横浜市保土ヶ谷保健所）
 2. 栃木県における被虐待児対策の地域システム化
下泉 秀夫（栃木県身体障害医療福祉センター）
 3. 虐待防止地域システムにおける医療機関（大学病院）の役割
大田 剛穂（北里大学・医学部・小児科）
 4. 家庭支援による再発防止の問題点
小林美智子（大阪府立母子保健総合医療センター・成長発達部）
 5. 母親の生育歴と育児態度について
田野 稔郎（神奈川県立こども医療センター・精神療育部）
 6. 虐待者となる要因とそれへのアプローチ
郭 麗月（近畿大学・医学部・精神神経科）

午後0：20～1：20（60分間）

————— 昼 食（事務局で用意致します） —————
（約5分，事務連絡を予定しています）

午後1：20～2：25

- C. 乳幼児期からの情緒の形成に関する研究班（分担研究4） 座長 清水 凡生
1. 乳幼児の愛他行動と家族の力学的関係
首藤 敏元（埼玉大学・教育学部）

2. 乳幼児の母子関係と思いやりの形成
森下 正康 (和歌山大学・教育学部)
3. 乳幼児における情緒反応の生起要因
佐藤 浩一 (甲南女子大学・文学部)
4. 乳幼児をもつ母親の育児困難
大日向雅美 (恵泉女学園大学・人文学部)
5. 体験学習の学校カリキュラムへの導入
須永 進 (日本総合愛育研究所)
6. ふれあい体験学習の効率的な実施と評価
松橋 有子 (広島大学・教育学部)
7. 乳幼児検診における対人コミュニケーション障害児の早期発見
薄田 祥子 (新潟県中央福祉相談センター)
8. 思春期保健福祉体験学習の全国調査とその評価
小長井春雄 (日本家族計画協会・組織部)
9. まとめ
清水 凡生 (広島大学大学院・教育学)

午後 2 : 25 ~ 2 : 35 (10分間)

————— コーヒーブレイク —————

午後 2 : 35 ~ 3 : 40

D. 小児心身症に関する研究班 (分担研究 2)

座長 星加 明德

1. リサーチクエスションと研究概要
星加 明德 (東京医科大学・小児科)
2. 共同調査報告 (1) 家族・養護教諭の対応
星加 明德
3. 心身症の発生機序についての考察
星加 明德
4. 幼児の性格行動特徴と心身症様症状
宮本 信也 (筑波大学・心身障害学系)
5. 育児における心身の問題
生野 照子 (神戸女学院大学・人間科学部)
6. 学校での小児心身症
 - a. 保健室頻回来室者の調査
 - b. 中学校での起立性調節障害と背景因子
 平山 清武 (琉球大学・医学部・小児科)
7. 不登校に随伴する身体症状の精神医学的意義
齋藤万比古 (国立精神神経センター・国府台病院・精神科)
8. 3歳児の幼稚園における適応状況
森永 良子 (白百合女子大学・発達臨床センター)
9. まとめ・討論
星加 明德

午後 3 : 40 ~ 4 : 00

総合討論, 閉会